



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

2019年3月23日（土） 関東予選①／ 栃木・千成 G C
予選大会結果のお知らせ

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関東予選①>

◇ 3月23日 ◇ 栃木・千成 G C（15－18歳男子6737ヤード、パー72ほかカテゴリー別）

◇ 出場147人 ◇ 曇り時々雪のち

<関東予選① 概況>

15－18歳の部男子は、塚原悠斗（栃木・佐野日大高1年）が1オーバー73で回り、2位に3打差をつけて1位となって東日本決勝大会（4月20～21日、茨城・美浦 G C）に進んだ。同女子は接戦となり、吉津谷彩香（茨城・ルネサンス高茨城校2年）が1オーバー73で回り、後半逆転して飯村知紗（茨城・明秀学園日立高2年）に1打差のトップで進出。13－14歳の部男子は中川虎ノ介（茨城・笠原中1年）が2アンダー70の好スコアをマーク、同じティーからの15-18歳の部を上回って1位で東日本決勝大会に進んだ。同女子は小宮千鶴（愛知・聖霊中1年）が3オーバー75で1位だった。

<関東予選① 予選結果>

東日本決勝大会進出者は以下の通り。＊敬称略

▽15－18歳男子

- 【1位】塚原悠斗（栃木・佐野日大高1年）＝73
- 【2位】鈴木慈音（東京・クリスチャンアカデミーインジャパン高1年）＝76
- 【3位】東 亜藍（埼玉・大幡中2年）＝76
- 【4位】黒澤 光（福島・東日本国際大付昌平高3年）＝76
- 【5位】石森健太郎（埼玉・埼玉栄高2年）＝77
- 【6位】玄飼 台（茨城・日本ウェルネス高1年）＝77
- 【7位】五味田真大（栃木・姿川中3年）＝78

▽同女子

- 【1位】吉津谷彩香（茨城・ルネサンス高茨城校2年）＝73
- 【2位】飯村知紗（茨城・明秀学園日立高2年）＝74
- 【3位】江原侑美（群馬・前橋育英高1年）＝75
- 【4位】横山珠々奈（栃木・氏家中3年）＝75
- 【5位】白石実零（群馬・玉村中3年）＝76
- 【6位】大須賀望（宮城・東北高2年）＝77
- 【7位】安達有沙（神奈川・横浜雙葉高1年）＝78
- 【8位】松岡 華（千葉・千葉学芸高3年）＝80

▽13－14歳男子

- 【1位】中川虎ノ介（茨城・笠原中1年）＝70
- 【2位】吉沢己咲（群馬・藤岡北中2年）＝74
- 【3位】平野誠一（埼玉・行田中2年）＝74
- 【4位】平山幸作（東京・早稲田実業学校中等部2年）＝76
- 【5位】玄飼 陽（茨城・滑川中1年）＝76
- 【6位】隅内雅人（茨城・水戸第二中2年）＝76
- 【7位】松澤虎大（茨城・石岡中2年）＝79
- 【8位】時本晃志（千葉・田中中1年）＝79



写真：15-18歳男子 塚原悠斗
©IJGA2019



写真：15-18歳女子 吉津谷彩香
©IJGA2019

▽13-14歳女子

- 【1位】小宮千鶴（愛知・聖霊中1年）＝75
- 【2位】長谷川愛美（群馬・薮塚本町中2年）＝77
- 【3位】中澤凜音（群馬・宮城中2年）＝78
- 【4位】室原好乃実（埼玉・八王子中1年）＝82
- 【5位】岡安真衣（千葉・西武台千葉中1年）＝82
- 【6位】橋爪莉都（神奈川・鵜沼中2年）＝82
- 【7位】松尾美咲（東京・東大和第二中2年）＝83
- 【8位】角田夢香（群馬・富士見中2年）＝84
- 【9位】大塚由姫乃（茨城・新治学園義務教育学校2年）＝84

▽11-12歳男子

- 【1位】橋詰海斗（新潟・栖本小6年）＝78
- 【2位】神山泰地（茨城・手代木中1年）＝80
- 【3位】園部大翔（埼玉・水富小5年）＝82
- 【4位】出口千加志（茨城・友部小6年）＝83
- 【5位】清水奏琉（埼玉・行田北小5年）＝85

▽同女子

- 【1位】西脇真帆（新潟・小千谷小6年）＝76
- 【2位】勝田花菜（東京・杉並第八小6年）＝80
- 【3位】宮城 柚（沖縄・喜名小5年）＝80
- 【4位】小宮千愛（愛知・小清水小5年）＝82
- 【5位】神山結和（栃木・北押原小6年）＝84

▽9-10歳男子

- 【1位】星野煌貴（群馬・榛東北小3年）＝79
- 【2位】東 路敏（埼玉・大幡小3年）＝87
- 【3位】豊嶋征晴（群馬・宮城小4年）＝88

▽同女子

- 【1位】龍本奈月（広島・安小4年）＝84
- 【2位】庄司百希（山形・若浜小4年）＝86
- 【3位】西脇優衣（新潟・小千谷小3年）＝93

▽7-8歳男子

- 【1位】星野泰輝（群馬・榛東北小2年）＝78
- 【2位】関 夢生（埼玉・星野学園小2年）＝80

▽同女子

- 【1位】竹田妃菜（奈良・王寺北小2年）＝76

（注）同スコアの順位は18番からのカウント

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関東予選①>

◇15-18歳の部男子◇3月23日◇栃木・千成GC（6737ヤード、パー72）

塚原悠斗（栃木・佐野日大高1年）がショートパットに苦しみながらも1オーバー73で東日本決勝大会（4月20～21日、茨城・美浦GC）に1位で進んだ。開口一番「今日はふがなかった」。得意というアイアンショットはいつも通りに好調だったが「パッティングが…。1メートルのバーディーパットを3回外した」と振り返った。7番2メートル、8番1メートルなど4バーディーを奪ったが、1ダブルボギー、3ボギーと出入りが激しく、チャンスも逃してアンダーパーにできなかったのが「ふがなかった」。このところ「きれいな転がりをせず、引っ掛けるミスも多い」と悩んでいたのがプレーに出てしまった。地元栃木のこのコースは千成ジュニアカップに小学生の時から出場し、1度優勝もしていることもあって「悪くてもまとめられた」という。2度目の予選挑戦で決勝大会に進むのは初めて。「その時の調子次第ですけど、課題のパッティングを改善していきたい」と話していた。

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関東予選①>

◇15-18歳の部女子◇3月23日◇栃木・千成GC（6197ヤード、パー72）

吉津谷彩香（茨城・ルネサンス高茨城校2年）が競り合いを制して、東日本決勝大会（4月20～21日、茨城・美浦GC）に進んだ。インスタートの前半はすべてパーで飯村知紗（茨城・明秀学園日立高2年）に1打リードを許した。後半は2つボギーをたたいたが、8番で「右の斜面に行ったのでやばいと思ったら出てきた。そうしたらディボット跡に入っていて、またやばいと思ったけど、うまく打てて、4メートルについた」と、これを沈めてバーディーを奪って逆転、1オーバー73にまとめた。これまで決勝大会に2度進んだが「いつも、惜しい、みたいな」と世界ジュニア切符に手が届かなかった。原因はメンタル面の弱さだという。「池のあるホールで池を怖がってしまってミスして2発入れたり」と振り返る。1年前にジャンボ尾崎ゴルフアカデミーに入って腕を磨き、メンタル面も強化してきた。「今年は通りたい。英語を使ってみたいから世界ジュニアに行きたい」と意欲をみせている。

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関東予選①>

◇13-14歳の部男子◇3月23日

◇栃木・千成GC（6737ヤード、パー72）

中川虎ノ介（茨城・笠原中1年）が、同じティーからプレーした上の年齢カテゴリー（15-18歳の部）の1位を上回る2アンダー70の好スコアで、東日本決勝大会（4月20～21日、茨城・美浦GC）に進んだ。「短いクラブのしょうもないミスもあった」と3バーディー、3ボギーのイーブンで終盤へ。16番で残り70ヤードから、18番では残り50ヤードからともに1メートルにつけるバーディーが効いた。得意なクラブは9番アイアン。「スイングの基本は9番アイアンだと思っているので、いつも練習している」という。中学1年で身長は175センチ、スパイクは28センチと体格の素質は十分。この予選には初めての挑戦で「今日はショットのばらつきがあったけどうまくリカバリーできた。決勝大会ではパーを稼げるゴルフをしたい」と、世界ジュニア代表を目指す。



写真：13-14歳男子 中川虎ノ介
©IJGA2019